

平成30年産米の県の「生産の目安」(案)について

平成29年11月30日

1 算定方法

本県の「生産の目安」は、「全国生産量と県産米シェアにより算出した数値」と「需給動向と適正在庫量により算出した数値」の中間値を基本とし、必要に応じて直近の販売状況を踏まえた補正を行って設定することとする。

2 算定に用いる数値

(1) 県産米シェア率

全国需要量に占める県産米のシェア率は、平成22～28年の7中5平均で算出。

単位：トン、%

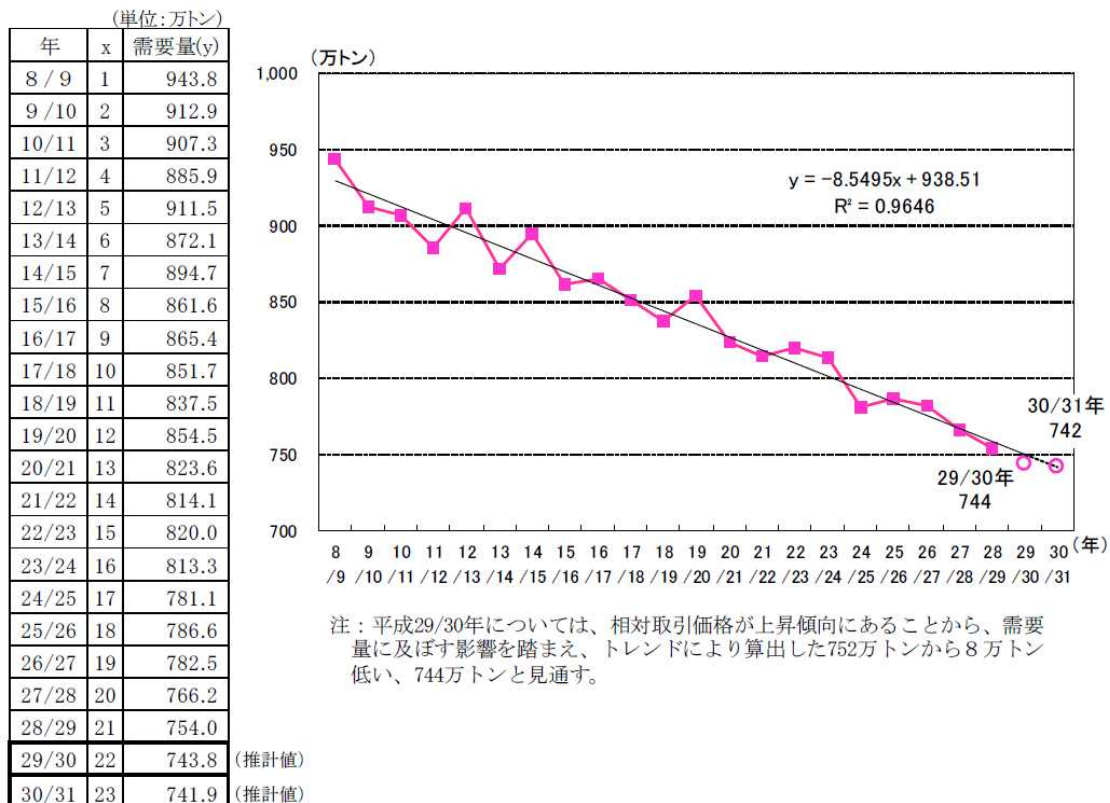
年産	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	7中5平均
全国	8,199,964	8,132,739	7,811,000	7,866,000	7,825,000	7,662,000	7,540,000	—
秋田県	471,039	450,496	403,815	440,402	412,193	470,654	413,615	—
シェア率	5.7444	5.5393	5.1698	5.5988	5.2676	6.1427	5.4856	5.5272
算出採用	○	○	×	○	○	×	○	

(2) 適正在庫量

6月末の県産米の適正在庫量は、国が「安定供給が可能な水準」とする全国在庫量180万トンに県産米シェア率を乗じた10万トンを下限とし、県産米の価格が安定する水準12万トンを上限として、この範囲にある場合は、在庫量を維持できるように生産の目安を算出する。

(3) 主食用米の需要量

全国需要量（国によるトレンド推計：平成29年11月末基本指針より）



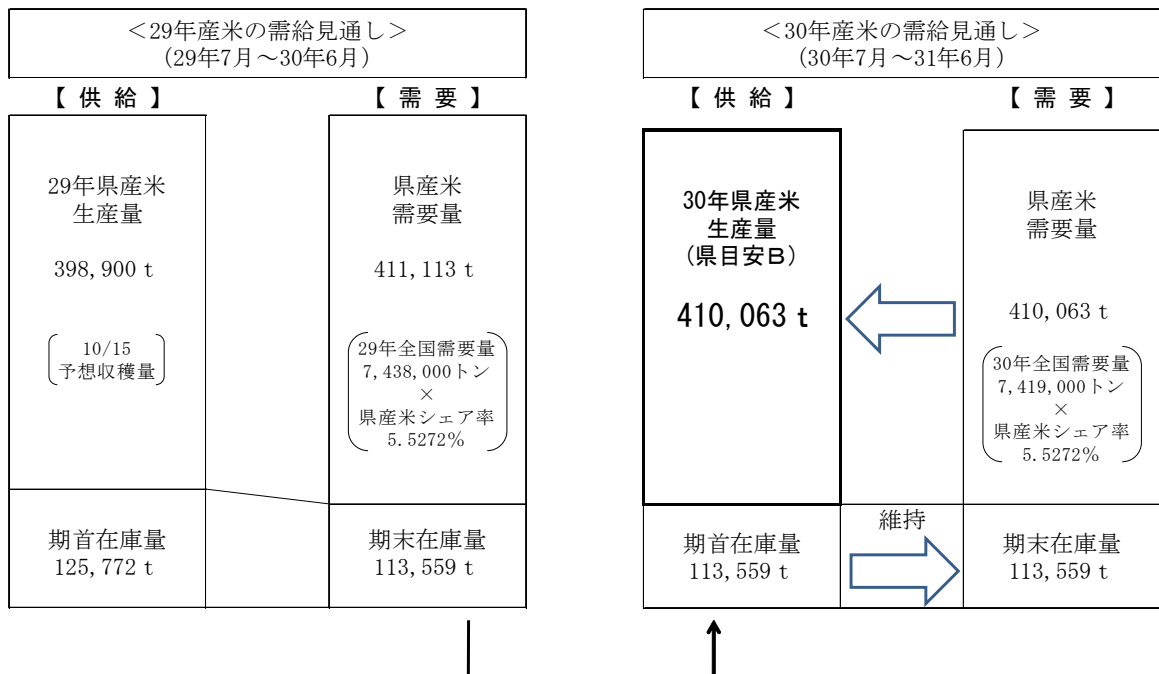
3 平成30年産米の県の「生産の目安」の算出

(1) 全国生産量と県産米シェアにより算出した数値（県目安A）

①29年産米全国生産量 (生産数量目標)	②30年産米全国生産量 (11月末基本指針)	③30年産米県目安A (②×県産米シェア率5.5272%)
7,350,000トン	7,350,000トン	406,249トン

(2) 需給動向と適正在庫量により算出した数値（県目安B）

30年産の全国需要量の推計値から求められる県産米の需要量、29年産米の予想収穫量、適正在庫量から算出。



(3) (1)と(2)の中間値の算出

(1) 県目安A	(2) 県目安B	(3) 中間値 ((1) + (2)) ÷ 2
406,249トン	410,063トン	408,156トン

(4) 直近の販売状況を考慮した補正

直近の販売動向を見ると、全国的に需給が引き締まっていることから、秋田米への引き合いも強く、29年産の生産量に対して更に2,000トン程度の増産が可能と思われるが、米価が上昇基調にあり、米の需要が先細りする懸念もあることから、30年産の「生産の目安」は、29年産と同水準とする。

平成30年産「生産の目安」 (面積換算)	408,700トン (71,326 ha)
-------------------------	----------------------------

※ 面積換算 = 408,700トン ÷ 県平均単収573kg/10a

【30年産米の「生産の目安」と29年産米の生産数量目標等との比較】

	平成30年産 生産の目安 (面積換算)	平成29年産		
		生産数量目標 (面積換算)	自主的取組参考値 (面積換算)	予想収穫量 (作付見込面積)
全 国	7,350,000トン	7,350,000トン (1,387,000ha)	7,330,000トン (1,384,000ha)	7,309,000トン (1,370,000ha)
秋田県	408,700トン (71,326ha)	408,644トン (71,317ha)	407,532トン (71,123ha)	398,900トン (69,500ha)